

南会津町議会議長 渡部 康吉 様

議会広報委員会委員長 楠 正次

所管事務調査報告書

議会広報委員会研修について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 研 修 日 時 平成 2 1 年 1 1 月 9 日 午後 1 時より 3 時 4 5 分迄
- 2 場 所 ビッグパレットふくしま
- 3 参 加 者 楠正次・湯田哲・馬場信作・山内政・大宅宗吉・
事務局 湯田昌伸
- 4 講 師 議会広報コンサルタント 深沢 徹 氏
- 5 講演テーマ 議会広報ここがポイント
ありのままに、わかりやすく、住民とともに

内容

- (1) 住民が親しみを持ち、読んで頂ける広報紙を作る。読者あつての広報です。
- (2) 編集、情報提供だけでなく、読者（住民）が、どのように受け止めているか確認も重要であり、広報モニター制度も有効である。
- (3) 編集の自主性の原則：議会の公開（知る権利と知らせる義務）
- (4) 住民の意見を掲載し参加意識を育むことも重要。
- (5) 議決について賛成、反対は明確に氏名を記載する。
- (6) 議会で論じたことが執行部局の検閲を受け、内容が変節されることがあるが、断じてあつてはならぬことである。

総括

見出しや、用語、文体など、編集の基本的技術の大切さと研鑽の必要を感じましたが、議会広報はいかに多くの住民に読んでいただけるかであり、内容をしっかり伝えることが重要と感じました。

南会津町議会広報も誌面の改善・改革を実施していますが、文体の統一や読者に理解しやすい表現の仕方など努力しなくてはならないと考えます。

また、南会津町民の広報に関するご意見などのコーナーを作り住民参加の記事を設けるべきと考えます。

議場での議論の中身については、議会側、町部局側それぞれ都合の悪い内容でも中身はしっかり住民に伝えなくてはならないと強く感じました。

以 上